

本会議における

議案質疑

【質疑をした会派名】

今定例会では延べ27名の議員が質疑を行いました。

市が提出した議案の内容、提案の理由等について、疑問点や不明な点を明らかにするためにを行います。こちらには、それぞれの議案に対する質疑の一部を要約し、掲載しています。

採決の際、討論を行った議案は、「討論あり」と表示し、9〜10ページに掲載しています。

議案第104号

一般職の職員に関する条例等の一部改正

【無所属】【日本共産党】

問 今回の給与改定に伴う影響を伺う。

答 令和2年11月25日現在の期末手当の支給対象予定者および影響額は、常勤の一般職の職員231

4人で約4800万円、会計年度任用職員1185人で約800万円、合計3499人で約5600万円である。

問 今年度からの新制度である会計年度任用職員のある期末手当を常勤の一般職と同様に引き下げる理由を伺う。

答 常勤の一般職の職員

給与改定に係る取り扱いに準じ、改定するものである。

問 今後も経済状況に応じて、期末手当の支給額が変わるのか伺う。

答 期末手当の支給割合を改定する内容の人事院勧告があった場合には、その内容に準拠して対応することも考えられる。

問 新型コロナウイルス感染拡大で新たに生じた業務は、

保健所を中心とする感染症対策、国の特別定額給付金の給付等の経済対

策への対応の他、業務量が増えた部署への人的な応援や、感染症対策を踏まえた事務および事業の見直し等がある。

問 通常より緊迫した状況で業務量も増えた中、職務に当たる職員に対し市長はどう感じているか。

答 新型コロナウイルス感染症への感染のリスクの中、市民のため職務に励

議案第106号

市長の在任の期数に関する条例の廃止条例

【自由民主党】【無所属】【公明党】
【政晴会】【日本共産党】【無所属】

問 多選自粛条例を廃止してまで、出馬する理由は何か？

答 川越市長の在任の期数に関する条例は、努力義務であっても大変重いものである。一方、予期し

た。この状況の中で熟慮を重ねた末、市民の声に

んでいる職員、とりわけ保健所を所管する保健医療部をはじめとする最前線の職員については、日々の働きぶりに感謝している。現在、急速な感染

拡大が進んでいるが、今後も市の業務を継続するため、健康に十分留意した上で、引き続き市民のため職務に励んでほしい。

問 廃止を提案した理由は、

越え、災害に強いまちづくりを実現することが私の責務との思いに至り、

4選目に出馬することを決断した。さらなる行財政改革を推進し、住民福祉の増進を確実に継続するとともに、市内経済の活性化にも全力で取り組み、次の世代にしっかりと引き継げる地域社会をつくることに、全力を尽くしていきたい。

問 選挙直前の12月議会で

廃止を提案した理由は、

条例の重みと、コロナ禍の現状、団体や市民からの出馬要請を重く受け止め、熟慮を重ねた上で、9月末に出馬の決断をしたため、直近の定例会に廃止条例を提案した。

問 市が独自に行っている新型コロナウイルス感染症対策について伺う。

答 患者の受け入れ等協力医療機関への支援、簡易

陰圧装置の購入・設置、子育て応援支援金や赤ちゃん応援手当、妊婦へのマスク配布、中小企業者

事業継続緊急支援金などを行ってきた。

問 法的拘束力がない努力義務なら本条例を残したまま立候補することも可能だが見解を伺う。

答 4期目出馬の意思を示した以上、はじめをつける意味でも廃止することが適切と考え、提案した。

げ、施策を推進し、「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち 川越」の実現に向け、一定の成果は挙げられたものと考えている。

問 コロナ禍の今、市長を続けることで、川越市にとって何ができるのか。

答 感染症から市民を守るため、市内の現状を的確に把握し、これまでの流れを止めることなく、さまざまな団体と連携しながら対策を継続し、今後

生じる課題にも、迅速かつ確実に対応したい。

問 条例廃止は今必要な事とは思えない。取り下げること考えられないか。

答 4期目出馬の意思を示した以上、はじめをつける意味でも廃止することが適切と考え、提案した。

問 多選を自粛する条例は多選による弊害を生み出さないうちに制定されたと認識しているが、栗原副市長は3期12年の市政運営で弊害は生じていないか